

議会だより

6月市議会から

平成21年度一般会計補正予算
7億3700万円を増額

歳出補正の主な内容は次のとおりです。

- ◆一般会計
- 総務費 5億円増／市税等返還金および還付加算金
- 民生費 300万円増／雇用創出ホームヘルパー育成補助金
- 衛生費 5000万円増／住宅用太陽光発電設置補助金
- 労働費 5000万円増／中小企業緊急雇用安定補助金
- 商工費 1億円増／信用保証料補助事業補助金
- 教育費 3400万円増／緊急雇用創出事業襖下張り古文書整理および歴史博物館資料デジタルア

平成20年度は、以下の土地を取得・売却しました。

土地の取得については、公有地として安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業用地、安城南明治土地区画整理事業用地、市道天白大久戸線道路改良工事用地など13事業で、面積1万9070㎡余を9億9400万円余で安城市に処分し、安城北地区工業団地造成事業用地として面積11万4800㎡余を58億4200万円円で㈱デンソーへ売却しました。

この結果、平成20年度末に公社が保有する用地は、面積1万1880㎡余、金額で10億7600万円余となり、経営状況を示す収益的収支は5100万円余の利益となったため、準備金として整理しました。

平成21年度は、中間処理施設用地、安城南明治土地区画整理事業用地、安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業用地など3万1980㎡余を取得し、安城南明治土地区画整理事業用地、安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業用地、里町

「カイブ業務委託料

（財）安城市農業振興協会の経営状況

デンパークを経営する（財）安城市農業振興協会の平成20年度の経営状況が、次のとおり報告されました。

入園者数は、11月に開園以来通算70万人を迎えることができました。しかし、夏の燃料費の高騰や秋からの経済状況の悪化、年明けのリニューアル工事などの影響により45万6929人で、前年度に対して91・4%となりました。

決算は、一般会計で収入5億9500万円余、支出6億500万円余、収入の内訳では、市からの指定管

小学校用地など合計8870㎡余の売却を計画しています。

三河安城駐車場（株）の経営状況

新幹線三河安城駅北口前で「MAパーク」を経営している三河安城駐車場（株）の経営状況が、次のとおり報告されました。

第15期（平成20年度）のMAパーク駐車場の営業収益は、前年度に対して95・4%、660万円余の減額となりました。営業費用は借地料などで1億2630万円余、当期営業利益は1200万円余となりました。

なお、営業外収益はいち中央農業協同組合から1500万円円の補助金を含め2260万円余であったのに対し、営業外費用は800万円余であったため、2590万円余の経常利益を上げることができ



MAパーク

平成21年第2回安城市議会定例会を6月10日から25日まで開催し、提出された「安城市民交流センターの設置及び管理に関する条例の制定」など6案件を原案どおり可決したほか、10案件の報告、同意案1件を原案どおり同意、諮問案1件を異議ない旨答申しました。

11日と12日の一般質問には、12人の議員から行財政、生涯学習、市民生活、都市整備、経済、環境、福祉など市政の各方面にわたり質問がありました。

本会議の詳しい内容は、8月下旬から市役所市政情報コーナー、中央図書館に設置する「会議録」または市公式ウェブサイトの「市議会のページ」をご覧ください。

なお、一般質問は、同サイト内の「議会映像配信」で公開しています。

問▼議事課（☎へ712252）

理料3億4200万円余、10周年事業など委託料500万円、入園料などの施設利用収入1億8100万円余、テナントからの運営協力金1500万円余などとなりました。

支出の内訳では、管理費1億2200万円余、農業振興ならびに地場産業発展事業費1億2200万円余、市民園芸事業費3100万円余、花とみどりのまちづくり事業費1億21



00万円余、施設など管理事業費2億800万円余などとなりました。

特別会計では収入8700万円余、支出8600万円余となりました。

なお、平成21年度予算は、一般会計で6億3800万円余、特別会計で9900万円余の予算を計上しました。

「花・みどり・暮らしを提案する公園」として、各事業の充実に取組んでいきます。

市土地開発公社の経営状況

市土地開発公社の平成20年度事業報告・決算および平成21年度事業計画・予算が、次のとおり報告されました。

前期からの繰越損失を減額することができました。

第16期（平成21年度）は、引き続き、個人や大口の利用者を拡大するため、販売促進活動を進め、1億3190万円余の売上高、税引き後純利益を480万円余と見込んでいます。

公平委員会委員の選任

6月19日で任期満了となる藤原健氏の後任に稲垣英夫氏（今本町・65歳）を、鈴木勝代氏の後任に引き続き同氏（野寺町・65歳）を選任することについて、同意しました。

人権擁護委員の推薦

人権思想の一層の普及高揚を図るため、1人増員することとし、柳原真由美氏（東明町・47歳）を推薦することについて、異議がない旨の答申をしました。

意見書提出を議決

市議会では次の意見書1件を国の関係機関に提出することを決めました。

▽「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の延長に対する意見書」

一般質問のあらまし

行財政

■公共施設の保全整備計画について

問 市有施設の維持保全に関する基準などの策定について、市の考えを伺いたい。

答 市では、大小あわせて300ほどの施設を所有しています。その多くは昭和40年代から60年代にかけて建設されたものですが、なるべく長く利用して、財政負担や環境負荷の軽減を図る必要があると考えています。そのために、不具合が起きないようにする予防保全の考え方が必要です。その仕組みとして、昨年度に主に3つの基準として、1つの年次計画を策定しました。

1つ目は、施設を整備する際に検討すべき事項をまとめた整備基準です。これは、施設の修繕や改築、新築の実施にあたって、施設が目指すべき、安全性・機能性・

環境保全・経済性などに関する基本的方向性と内外装の仕上げのグレードや設備に関する具体的な仕様をまとめたものです。

2つ目は、施設を適正に維持していくための修繕時期などの判断基準です。施設管理者が行う日常点検による不具合の早期発見、技術担当職員による専門的な観点からの現状把握、不具合が持つリスクなどを総合的に判断して修繕時期を判定するものとしています。3つ目に、修繕をなるべく少なくするために、設備などの適切な維持管理を実施する必要がありますので、保守点検業務を見直すための維持管理基準を策定しました。

次に、今後の財政負担を想定するため、小規模な施設を除く100の施設について、一般的な修繕時期のサイクルを定め、修繕や建て替えに必要な概算工事費を積算して、40年後までの年次計画を策定しました。今後は、実際の修繕などの必要性を判断指標によって判断して、適正な時期に的確な改修・修繕などを実施することにより、施設の長寿命化とライフサイクルコストの軽減を図り計画的な保全を推進していきたいと考えています。

公園の安全性の確保については、市民生活に大きな影響がありますので、重点的に取り組まなければならないと考えています。未整備状態による事故などを未然に防ぐよう、工事中の安全柵などの対策を講じていきます。

経済



■緊急雇用・経済対策について

問 市独自の雇用対策と個人・事業者に対する環境対応車への買い換え補助制度について伺いたい。
答 市独自の雇用対策については、緊急雇用対策と介護人材の育成を兼ねて実施する「雇用創出ホームヘルパー育成補助金」を新設しました。また、国の緊急雇用創出事業に係る文化財課の襖下張り古文書整理と博物館デジタルアーカイブの2事業で新たに23人の雇用の創出を予定しています。

このほか雇用を守るため、「中小企業緊急雇用安定補助金」を創設し、国の助成金を受給している中小企業者に対して、支援をしています。

環境対応車への買い換え補助については、国の購入補助制度が終了しても、切れ目ない対策となるように、環境側面の視点を重視し、

生涯学習



■電子図書館サービスについて

問 図書館サービスの新たな形として電子図書館の確立を考えてはどうか。

答 平成18年度から22年度までの5か年計画で地域電子図書館構築事業として、所蔵資料を直接閲覧することにより資料が傷むことを防ぐ観点から、地域資料のデジタル化を計画的に進めています。昨年度までの3か年で、日本デンマーク関連の貴重な本や古地図など90点、延べ2万ページ以上をデジタル化し、昨年の12月から図書館ウェブサイトで順次公開しています。

現在、中央図書館が抱える大きな課題として、蔵書収容能力の限界や、書架・閲覧席の不足、受付カウンターの慢性的な混雑に加え、市民ニーズに対応するための新たなサービス展開の必要性があります。このため、中心市街地拠点整備基本計画と並行して、新図書館基本計画策定委員会を立ち上げて、更生病院跡地への中央図書館機能の移転を前提とした新図書館基本計画を今年度中に策定する予定をしています。

この基本計画の中で、いわゆる

その時点の景気の動向を見極め検討していきます。

また、事業者に対する補助についても、市の基幹産業に対する経済対策として有効な手段と考えますので、個人の補助とあわせ、その時点で検討していきます。

■観光開発について

問 遊歩道・自転車道ネットワークの活用と北部地域の観光開発について伺いたい。

答 豊田安城自転車道を中心とする明治用水の上部を利用した自転車道と緑のネットワークを観光資源として有効利用することは、必要であると考えます。環境面と寺社や自然景観などの観光資源に配慮しつつ、整備を進めたいと思います。

5月24日に「COP15サイクリングツアー」デンマーク大使と走ろう、エコサイクリング」と銘打ったイベントを実施しました。全国9都市の内、東京に続いて2番



電子図書館と地域資料のデジタル化を合わせた安城らしい活字資料とデジタル資料が融合したハイブリッド図書館のあり方を検討したいと考えています。

市民生活



■あんくるバスについて

問 効率の良い、便利なルート選定に取り組んでほしい。また、バス停にベンチを設置できないか伺いたい。

答 路線の見直しについては、全体として7路線から10路線に、また、これまで乗り入れしていない人口の集中する一部の箇所へ新たに乗り入れをすることとしました。ルート選定については、車両のすれ違いが困難な道路、あるいは



目に参加者の多いものとなり、自転車に対する市の取り組みを全国に伝えられたと考えています。

今後もウォークラリーやサイクリングイベントを継続的に実施し、自転車道が環境面にやさしい点と観光資源として有効である点を市内外に発信して利用促進につなげていきたいと思えます。

北部地域の観光開発については、一部の地区において、安心・安全なまちづくりの観点からすると若干便益施設などが不足する部分もあります。観光客や散策する人々の休憩施設・屋外トイレの設置について、まず、周辺の公共施設への案内表示などを優先して検討したいと考えます。また、安全に周遊できるように、歩道などの施設についても、できることから改善していきたいと思えます。

環境



■ごみ減量メダルクラブについて

問 ごみ減量メダルクラブは、市民が立ち上げたごみ減量プロジェクトです。活動内容と市の支援について伺いたい。

答 クラブの活動は、市が進めている「やればできる!ごみ減量20

基本的には運行の形態を往復運転としていることから、一方通行などの制限がある道路などを避けています。そのため、やむを得ず周辺道路をルートとしている路線があります。区画整理事業や道路整備などによりバスの走行が可能となった道路については、ルート変更を検討したいと考えています。ベンチについては、現在、9か所のバス停に設置しています。道路や歩道に設置するには、道路占用の基準から、すべてのバス停への設置は難しいのが現状ですが、今後町内会からの要望があれば、周辺の土地所有者の協力のうえ、設置の検討をしていきます。

都市整備



■桜井中央公園の整備について

問 桜井小学校跡地に一部供用開始されている桜井中央公園の整備計画と安全対策について伺いたい。
答 整備計画については、桜井地区の住民の皆さんに多く参画していただき、地域に親しまれる公園計画にすることができました。今後、緑地や駐車場、トイレなど残りの部分の整備を財政状況を勘案しながら順次進めていきたいと考えています。



「の施策を市民活動としても進めるもので、大いに期待しています。今まで、4月に全小・中学校のPTA総会でごみ減量の呼びかけと金メダルクラブの説明をしていただきました。今後は、6月にリーフレットを地区公民館に置き、7月からは企業へ、8月以降は商店街へ働きかけをする予定と伺っています。

市からの支援は、リーフレットの提供とイベントへの備品の貸出などをしてきました。今後は、金メダルクラブ実行委員会で具体的な活動の方向性が確定しましたら、それに対しても積極的に支援を行っていきます。

■エコキャップ運動について

問 この運動は、発展途上国の子どもを救うために、ペットボトルのキャップでワクチンを購入する活動を通じて社会教育、環境教育を実践することができます。市に

**全員協議会
・委員会の
活動状況**

3月定例会閉会以降、6月定例会閉会までの全員協議会と各委員会の活動状況は次のとおりです。

***全員協議会**

- 6月5日 財団法人安城市都市農業振興協会、社会福祉法人安城市福祉事業団および安城市社会福祉協議会の平成20年度事業および決算報告の説明を聞き、質疑をしました。
- 5月11日 新しい委員会が構成され、正副委員長の互選などを行いました。
- 5月18日 委員会所管事項の説明を聞いた後、株式会社キヤッチネットワーク(刈谷市)を巡視しました。
- 6月22日 第2回定例会で審査を託された市一般会計補正予算の1議案を審査し、原案どおり可決しました。常任委員会終了後、行政調査の内容について勉強会を開催しました。

***経済福祉常任委員会**

- 5月11日 新しい委員会が構成され、正副委員長の互選などを行いました。
- 5月15日 委員会所管事項の説明を聞いた後、所管施設の安城市アグリライフ支援センター(石井町)など6か所を巡視しました。
- 5月29日 財団法人安城市都市農業振興協会、社会福祉法人安城市福祉事業団および安城市社会福祉協議会の平成20年度事業および決算報告の説明を聞き、質疑をしました。
- 6月19日 第2回定例会で審査を託された市一般会計補正予算の1議案を審査し、原案どおり可決しました。
- 6月25日 行政調査の内容について勉強会を開催しました。
- 5月14日 委員会所管事項の説明を聞いた後、所管施設の中部学校給食共同調理場建設工事現場(福釜町)など6か所を巡視しました。
- 5月19日 所管施設の茶臼山高原野外センター(長野県根羽村)を巡視しました。
- 6月18日 第2回定例会で審査を託された安城市民交流センターの設置及び管理に関する条例の制

定など3議案を審査し、原案どおり可決しました。常任委員会終了後、行政調査の内容について勉強会を開催しました。

***建設常任委員会**

- 4月10日 部会を開催し、桜井土壌汚染対策の結果および安城市土壌調査実施要領について説明を聞き、質疑をしました。
- 5月11日 新しい委員会が構成され、正副委員長の互選などを行いました。
- 5月20日 委員会所管事項の説明を聞いた後、所管施設の桜井中央公園整備事業の現場(小川町)など7か所を巡視しました。
- 6月17日 第2回定例会で審査を託された市手数料条例の一部改正の1議案を審査し、原案どおり可決しました。終了後、部会を開催し、中心市街地拠点整備基本計画(素案)について説明を聞き、質疑をしました。
- 6月25日 行政調査の内容について勉強会を開催しました。
- 4月3日 第2回臨時会の議事運営について協議しました。
- 5月1日 第3回臨時会の議事運営について協議しました。
- 5月11日 新しい委員会が構成され、正副委員長の互選などを行いました。
- 5月22日 第4回臨時会の議事

運営について協議しました。

- 5月29日 第4回臨時会の議事運営について協議しました。
- 6月3日 第2回定例会の議事運営について協議しました。
- 6月22日 第2回定例会最終日の議事運営について協議しました。
- 6月3日 新しい委員11人を委嘱し、正副委員長を選出した後、議長から会派控室の設置基準について諮問され、協議をしました。
- 6月23日 諮問事項、会派控室の設置基準について議長に答申しました。また、新たに政務調査費の使途基準などの見直し、議会の情報公開の充実、災害時の議員の行動マニュアルについての3項目が諮問されました。
- 5月11日 委員の所属変更に伴い、正副委員長の互選などを行いました。
- 5月11日 委員の所属変更に伴い、正副委員長の互選などを行いました。
- 6月5日 中心市街地拠点整備基本計画(素案)について勉強会を開催しました。
- 5月11日 委員の所属変更に伴い、正副委員長の互選などを行いました。

おいても始めるべきではないか。

答 エコキヤッチ運動は、市内でも小・中学校や企業・団体などが自主的に取り組んでいます。

小・中学校においては、集めたキヤッチを認定工場へ持ち込む方法に苦慮しているようなので、現在、清掃事業所において各学校で集められたペットボトルの回収をしていますので、あわせてキヤッチも回収し、認定工場へ持ち込む方法を検討していきます。

また、学校以外での教育施設や公民館などについては、地球温暖化対策地域協議会エコネットあじょうの取り組みとして、実施してもらえよう調整していきます。

トにより、長時間にわたり自宅前にごみが放置されてしまうケースができてしまうことやごみステーション回収に比べ多額の経費が掛かるなどの課題もあります。

しかし、排出者が特定されるため、ごみの分別の徹底や減量など一定の効果が期待できます。また、ごみ出しのモラルの向上や一人暮らし高齢者に対する新たな効果も期待できますので、他市の状況を調査するなど研究していきます。



護認定をしていますが、この経過措置により要介護度の決定をしています。5月末日までの更新申請は25人ありました。審査結果で要介護度が更新前と比べて軽くなった人が74人、重くなった人が58人、変わらなかった人が163人でした。

なお、希望調査により、更新前の要介護度を希望する人が80人いましたので、最終的に要介護度が変わった人は52人でした。

さらに感染の拡大のおそれがある場合に県の要請に基づき対応をとることとしています。インフルエンザ対策については、対策会議を必要に応じ、また柔軟に開催し、対策を決めたいと考えています。今後、市民へ正確な情報を発信し、冷静な対応を呼びかけたいと考えています。



■ごみ減量施策について

問 紙ごみ用指定袋の導入、可燃ごみの戸別回収など、新たなごみ減量施策の導入が可能か伺いたい。

答 紙ごみ用の指定袋の導入については、プラスチック製容器包装の回収と同様に、紙をごみ箱に入れる時点で資源にしやすい仕組みができれば効果的だと思います。しかし、燃やせるごみ袋と比較して、紙袋は製造単価が高くなります。他市の事例を探し、袋の販売価格や売れる見込みなどの課題について検討を重ね、販売できる可能性を探していきます。

戸別回収については、回収ル

■新介護認定制度について

問 認定区分の変更による影響について伺いたい。

答 今年度導入された新介護認定制度により、軽度で認定されるのではないかなどの不安が生じているとの指摘や、安定的な介護サービスの利用を確保する観点から、厚生労働省では、新たな要介護度の認定基準により要介護度が変わったときも、利用者の希望があれば、現在の要介護度に基づき、引き続き同じ介護サービスが受けられるようにする経過措置がとられることになりました。

市では、今年4月の要介護認定申請分から新しい基準により要介

護認定をしていますが、この経過措置により要介護度の決定をしています。5月末日までの更新申請は25人ありました。審査結果で要介護度が更新前と比べて軽くなった人が74人、重くなった人が58人、変わらなかった人が163人でした。

なお、希望調査により、更新前の要介護度を希望する人が80人いましたので、最終的に要介護度が変わった人は52人でした。

■ジェネリック医薬品の普及について

問 ジェネリック医薬品の希望カードの配布時期について伺いたい。

答 国は、医療費の増加を抑制するため、ジェネリック医薬品の使用促進に向けた取り組みを進めています。市は、国民健康保険の保険者として、今年度はジェネリック医薬品の使用促進に向けて、PRチラシを作成し、広報に折り込むなど、その周知と理解を深めたいと考えています。希望カードの配布については、事務的な経費などを考慮し、平成22年9月の保険証の一斉更新に併せて配布するよう検討したいと考えています。